

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 5月 16日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県五條市三在町1421番地

氏 名 五條生コン株式会社 榮林裕記

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-24-2525

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	五條生コン株式会社
事業場の所在地	奈良県五條市三在町1421番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	F22-229 その他の窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	生コンクリート出荷数量 32000m <sup>3</sup> 生コンクリート出荷額 86400万円
③ 従業員数	19名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	生コンクリート戻りコン→洗浄→①スラッジ水②回収骨材に分離 ①スラッジ水→脱水→③上澄水④スラッジ固形分に分離→③は再資源化 ②回収骨材→トロンメル・クラッシュファイア→細粗骨材に分離→再資源化 ④スラッジ固形分→硬化後固形物→再生処理業者へ委託→再資源化 ⑤生コンクリート戻りコン→コンクリートブロック作成→再資源化 ⑥上記⑤の型枠に収まりきらないもの→硬化後固形物→再生処理業者へ委託→再資源化

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物処理統括者(代表取締役)

↓

産業廃棄物処理管理者(工場長・品質管理責任者)

↓

コンクリートブロック製造・骨材分級処理・コンクリートブロック製造・処理水分級処理  
(工場長・製造課長及び各担当者)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	2338.18 t	t
	(これまでに実施した取組)		
産廃となる戻りコンを少なくする為、施工現場での生コン注文を必要以上に発注しないように要請。戻りコンの有償物利用を促進するため、積ブロック用型枠数を増加。(有償化物としての利用促進)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	1740 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
上記取り組みの周知徹底。最終車両等の過剰追加注文の減少要請。戻りコンの有償物利用を促進するため、積ブロック用型枠数を増の検討。(有償化物としての利用促進)			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	戻りコン再利用による大型ブロックへの再資源化(有償物)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	戻りコン再利用による大型ブロックへの再資源化(有償物)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	2338.18 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	2338.18 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組)		
産廃となる戻りコンを少なくする為、現場サイドの生コン注文を必要以上に発注しないように要請。戻りコンの有償物化を促進するため、積ブロック用型枠数増設の検討。(有償化物としての利用促進)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1740 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	1740 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>上記取り組みの周知徹底。  最終車両等の過剰追加注文を減少させる。  大型ブロック用型枠の増設の検討。(有償化物としての利用促進)</p>			
※事務処理欄			